

人間福祉学科

Department of Human Welfare

人間の発段階で生じる様々な生活問題に対して、社会福祉学・心理学・医学等から総合的にアプローチできる技能と知識を備えた社会福祉士・精神保健福祉士を育成しています。



学科のねらい

人々が望む自己実現を支援するプロを育成します。

金子 努

人間福祉学科教授



少子高齢社会における生活問題は、ワーキングプア、虐待、医療難民、介護難民など、複雑で多様な様相を呈しています。人々が望む自己実現を支援するためには、これら生活問題に総合的にアプローチできる人材が必要です。

人間福祉学科では、社会福祉学・心理学・医学などの基礎学問のうえに、生活環境、介護などを含めた幅広い社会福祉の専門科目を通して、専門知識・専門技術を修得します。さらに、「チーム医療」に関する教育も充実しており、福祉現場で地域の関連スタッフとの連携力を発揮できるような、実践力の備わった社会福祉の専門家の育成をめざしています。

在学生からのメッセージ

総合的に働きかけていける社会福祉士を目指します。

宮地公平 さん

人間福祉学科3年



私は、高齢者の生活をサポートすることに興味を持ち、この学科を志望しました。入学してからは、高齢者だけでなく、児童や障害者、社会保障制度など様々な領域について学び、社会福祉士には多くの視点が必要になると実感しています。また、ボランティア活動などにも積極的に参加し、

地域や人のつながりというものが重要になるのではないかと考えるようになりました。これらの経験をもとに相談援助の専門職として、利用者の希望する生活が送れるよう、個人やその生活環境、そして地域や社会にも働きかけていけるような社会福祉士を目指したいと思います。

卒業生からのメッセージ

様々な機関や多職種と連携を取り、患者さんやご家族への支援を行っています。

宮澤千尋 さん(平成24年3月卒業)

JA尾道総合病院
医療ソーシャルワーカー



現在、医療ソーシャルワーカーとして相談業務や転院調整を行いながら、事務職として広報活動なども行っています。急性期病院は、地域の医療機関や施設との連携がとても大切です。また、患者さんの治療には多くの職種が携わっています。地域や院内の

様々な機関や多職種と連携を取り、患者さんやご家族への支援を行っています。このような連携の大切さを、大学のチーム医療の講義で他学科の学生と関わり、実際に事例検討を行うことで学ぶことができました。医療・福祉の現場は日々変化し勉強の毎日ですが、多くの方々から頼られる社会福祉士になりたいと思います。

主な就職実績(平成23年度)

- JA尾道総合病院
- 倉敷医療生活協同組合
- 医療法人社団緑誠会光の丘病院
- 臼杵市社会福祉協議会
- 日本赤十字社広島県支部
- 社会福祉法人あと会
- 社会福祉法人広島県同胞援護財団
- 島根県(児童福祉)
- 広島市(社会福祉)
- 三原市(一般事務、社会福祉)

国家試験合格実績(平成23年度)

区分	▶ 社会福祉士	▶ 精神保健福祉士
受験者数	▶ 42名	▶ 35名
合格者数	▶ 32名	▶ 32名
合格率	▶ 76.2%	▶ 91.4%

(参考)全国合格率:社会福祉士 26.3%、精神保健福祉士 62.6%